

令和6年度分 事業報告

1 概要

平成15年4月1日小規模通所授産施設としてスタートした。自立支援法を受け、定員を増やし平成19年1月1日付で障害福祉事業所に移行。平成19年4月1日付けで門司区吉志378-7に従たる事業所「おとぎの杜」を設置し、定員20人を満たした。

平成22年の3月にはご寄付により門司区吉志378-7の土地建物を取得し、経営の安定化を図ることになる。

平成25年5月より、門司区猿喰に従たる事業所「はぐくみ」を設置し、定員30名の施設となる。平成31年4月に職員の定数欠により、令和元年5月から吉志「おとぎの杜」猿喰「はぐくみ」で事業をし、定員20名の施設になる。

就労支援事業（授産）種目は主としてパン、クッキーの製造と販売を、その他に企業の下請け作業（ハンガー組み立て等）にも取り組む。

事業所の行事として平成26年まで4月の第2日曜日に「エルピス祭り」を開催していた。

令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大により販売事業、行事など中止・縮小をすることを余儀なくされた。市からの対策補助、企業・個人様からの寄付で乗り切ることができた。

令和6年度、猿喰「はぐくみ」は施設の老朽化により門司区吉志二丁目10-17に移転をした。

令和6年度、事業所として重点を置いたものは、

① 猿喰事業所「はぐくみ」の移転

建物の老朽化・トイレ問題、利用者の通勤の利便性、「おとぎの杜」との業務連携の強化

② 研修会等への参加

③ 社会福祉法人としての社会に貢献する取り組みを模索する。

であった。

①については無事に移転を完了することができた。②については例年より少なく1件の事務研修に終わった。研修の内容やタイミングが合わない研修参加もむずかしいので、自主（公共機関主催ではない）研修も紹介していく。③については、「まゆみの家」の地域活動開放や施設近隣のゴミ拾いを行うことは実施できた。

2 目 標

・個別支援目標の設定

計画	利用者と話し合い、今年の努力目標を決め実行する。目標に到達した者は充実感を体感させる。途中見直しの時点で目標達成困難と思われた者に対して目標設定の指導をし、再度一緒に目標を立て直し達成の喜びを味わえるように努める。
報告	個別支援計画の中で、契約時に本人・保護者と話し合い、本人の目標とする活動とその支援を確認した。半年に一度の評価と見直しによりその達成度を本人・保護者と話し合いながら次の目標につなげるようにした。また、目標をスモールステップにすることで達成感を持ちやすくした。

・施設環境の整備

計画	猪倉	倉庫（猪倉「まゆみの家」）の整備
	吉志	植木の手入れ 草刈り
報告	除草作業を主に、吉志・猿喰ともに計画通りに実施できた。猪倉は手が回らなかった。（地域活動の中で除草作業は行われた。）	

・指導員研修の充実

計画	各種研修会に参加の充実	新製品の開発	事業所の研修
報告	他施設の勉強会に一回参加した。		
	新製品の開発 職業指導員による適宜試作を行った。		
	事業所の研修 職員会議時に障害特性の話し合い。		

・経営の重点目標

利用者の募集（相談支援事業所との連絡）

計画	相談支援事業所、学校との連絡
報告	利用者の募集は、停滞中。はぐくみの送迎を計画。

全職員による経営参加

計画	経費の効率化と効果のある支出検討。 経営への参加意識を高めるために、全職員で予算執行・事業展開状況を確認する。 事業経営を全職員が意識できるように収支の確認を全職員で年に2回行う。
報告	経費の効率化と効果のある支出は、引き続き担当が一人で決めるのではなく複数の職員で考えるという体制で努力した。 全職員で予算執行・事業展開状況を職員会議やイベント計画の折に予算や執行率を確認するようにした。

利用者状況

1) 利用者の定数および利用者数

利用者定数 定員：20名 現員：11名 (男 8名 女 3名)

2) 利用者状況 (令和7年3月31日現在)

(1) 年齢構成

		20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計	
男	おとぎの杜	0	0	1	1	3	0	5	8
	はぐくみ	0	0	2	0	1	0	3	
女	おとぎの杜	0	0	2	0	0	0	2	3
	はぐくみ	0	1	0	0	0	0	1	
計		0	1	5	1	4	0	11	

(2) 利用期間

	1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	合計
男	0	0	0	1	1	6	8
女	0	1	0	0	1	1	3
計	0	1	0	1	2	7	11

事業内容

1. 授産活動

計画	おとぎの杜	パン、クッキー、マフィン等 製造販売 ・パン：数十種製造可能 ・クッキー ・マフィン ・ラスク
	はぐくみ	ハンガー組み立て等の下請け
報告	主たる事業所「おとぎの杜パン工房」ではパン製造販売を週4日（火曜日～金曜日）している。 従たる事業所「はぐくみ」では下請け作業をしており、マルソー産業・東邦金属（株）納品する。 上記を受けて今年度の重点課題として、次の点に取り組む。 ① 事業所相互の交流による仕事の分担、工賃の見直し。（継続）	
	製造・販売等は下請け、卸販売が昨年度より計画を下回った。計画の見直しが必要と思われる。 重点課題として上げた点に関しては、 ① 従たる事業所相互の交流による仕事分担は、年度末より「はぐくみ」によるパンの納品が定着した。バザーの協力は5件実施。 工賃の見直しは現状では難しい。ただ、「はぐくみ」による配達・販売に工賃設定をすることができた。	

2. 社会参加・余暇に関する活動

計画	<table><tr><td>全体</td><td> ・ スポーツレクリエーション ・ 利用者自治活動「つばさの友」 </td></tr><tr><td>各事業所</td><td> ・ レクリエーション・調理体験・節目の懇親会 ・ 利用者自治活動「つばさの友」 </td></tr></table> 余暇活動については、レクリエーション（スポーツレクリエーション・調理実習）を月1回程度実施し、各事業所において季節のレクリエーションを年3回程度実施する。 自治組織の体験をするために、会費を集め、自治会「つばさの友」でも活動に幅を持たせるようにする。スポーツレクリエーションで全員が集まることを利用して、会議・連絡会などを実施していく。	全体	・ スポーツレクリエーション ・ 利用者自治活動「つばさの友」	各事業所	・ レクリエーション・調理体験・節目の懇親会 ・ 利用者自治活動「つばさの友」
全体	・ スポーツレクリエーション ・ 利用者自治活動「つばさの友」				
各事業所	・ レクリエーション・調理体験・節目の懇親会 ・ 利用者自治活動「つばさの友」				
報告	レクリエーションは規模を縮小して実施。 自治会活動は、ほぼ自粛状態でレクリエーション時のお弁当などの経費のみになってしまった。 全体レクは、パンづくり体験。ミニレクは3回（映画鑑賞・カラオケ・農事センター見学・お花見等）することができた。また、新職員、退所者の歓送迎会を行った。歓送迎会は保護者同士の情報交換の場を持つことを考えて設定した。				

3. 施設管理

計画	おとぎの杜	警備・防災：警報装置の設置	防火管理体制：自主管理体制
	はぐくみ	防火管理体制：自主管理体制	
報告	計画通り実施。 防災訓練も実施できている。記録はネット上に報告するようになった。		

4. 健康管理

計画	健康に留意して生活ができるように月一回の体重測定(グラフにして確認)と年一回の健康診断を実施する。
報告	毎月一回、月初めに体重と目安の体脂肪率を量り、グラフにした。結果は自宅に持ち帰り保護者と見るように勧めている。健康診断も8月5日に実施。

5. 職場体験等受入れ

計画	特別支援学校の「産業現場等における体験学習（現場実習）」 地域学校の総合学習などの協力 適宜、当施設の利用体験をされたい方、相談支援事業所からの依頼を受け入れる。
報告	特別支援学校の「産業現場等における体験学習（現場実習）」、地域学校との協力、利用体験はなかった。 相談支援事業所・特別支援学校からの相談はあった。送迎・施設設備に課題があるようだ。「はぐくみ」の移転、送迎の計画によってこれからに期待する。

6. 苦情解決

計画	外部組織「苦情処理委員会」にて年1回苦情処理を保護者への参加も呼びかけて実施する。 自治組織「つばさの友の会」や日常の生活指導（場合によっては保護者等の協力も得て）で解決にあたる。
報告	今年度も例年実施していた「苦情処理のための話し合い」が実施できなかった。

7. 危機管理

計画	おとぎの杜	作業場の安全 避難場所への安全誘導
	はぐくみ	作業場の安全 避難場所への安全誘導
報告	現在のところ作業工程の危険箇所は見つかっていない。さらに次年度に向けて危険箇所に対する意識を高めて、事前に危険を回避できるように努力する。	

8. 設備・備品購入、改修、修繕等

計画	おとぎの杜	今年度特に予定なし
	はぐくみ	大家様との協議による。庭の手入れ
	田代	事務所兼パン製造設備倉庫として整理・整頓
	猪倉	保守・修繕費の積み立て
	奥田	
報告	田代・猪倉、整理整頓は手がついていない。	

9. その他

計画	吉志	他の施設との交流（職員交流・利用者の作業体験交流）
	猿喰	
	田代	研修所としての利用（研修会の利用・地域利用）
	猪倉	研修所としての利用（宿泊訓練・研修会の利用・地域利用）
	奥田	（田の活用について）
報告	田代は事務所となり、町内会の行事だけになった。 はぐくみは移転をした。地域の方は施設に好意的である。 吉志はパン屋さんとして地域に定着している。また、空き時間に地域のごみ拾い活動をしている。 猪倉の研修所は今年度もエルピスからの利用はなかった。地域団体の利用は行われている。	

月	日	曜	主な行事等	主なバザー	
4	8	月	お花見 (おとぎの杜)		
	23	火			職員会議
5	3	金		勝山公園バザー	
	11				内部監査 (会計監査)
	21	火			職員会議
	27	月			内部監査 (一般監査)
	30	木			理事会
	17	月	スポーツ教室		
	18	火			職員会議
7	7				アウトレット・スペースラボ
	8	月	移転先町内挨拶 (はぐくみ)		
	23	火			職員会議
8	3	土	歓送迎会		
	5	月	健康診断		
	16	金	レクリエーション (カラオケ (おとぎの杜))		
	20	火			職員会議
	30	金	台風のため休業		
9	2	月	はぐくみ 移転		
	24	火			職員会議
	27	金	事業所総会		
10	11	金		JR 小倉駅バザー	
	21	月	スポーツ教室		
	22	火			職員会議
	29	火	レクリエーション (映画鑑賞 (おとぎの杜))		
11	7	木	レクリエーション (農事センター (はぐくみ))		
	18	火			職員会議
	23	土		松ヶ江南市民センターバザー	

12	7	土		両谷市民センター バザー	
	14	土	チャンチャン劇団観劇		
	17	火			職員会議
1	6	月	昼食会		
	10	金	雪のため休業		
	21	火			職員会議
2	6	木	レクリエーション (パンづくり)		
	17	月	スポーツ教室		
	18	火			職員会議
3	1	土		大里南市民センター バザー	
	14	金			理事会
	18	火			職員会議
	31	月			評議員会